

地域支え合い研修

(丹陽町連区)を実施しました!

6月22日に丹陽町連区にて、地域支え合い研修を実施しました。この研修は地域に由来する活動や、日常的に行っているお宝（住民の支え合い活動）に焦点をあて、地域のつながりを再認識することで、今後の支え合い活動や見守り活動の発展につなげることを目的としています。当日は社会福祉協議会丹陽支会の呼びかけにより、町会長、民生児童委員、老人クラブ、保護司の方々44名が参加されました。

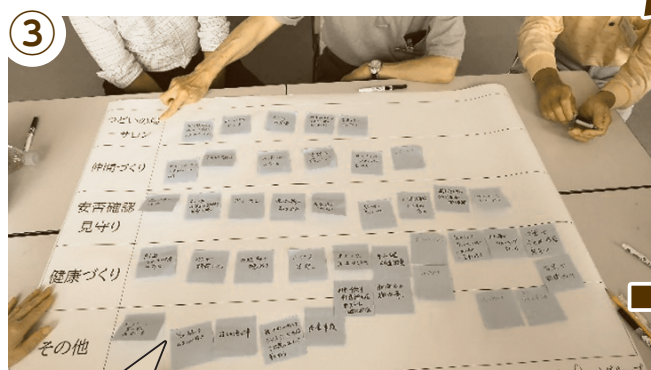
《地域支え合い研修の様子》



特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター宇城絵美様をお招きし、『つながりはなぜ大切なのか』をテーマに講演していただきました。



講演後は地域で行われている普段のつながり（お宝）を一人ひとり付箋に書き出しました。



次には書き出した付箋を表に貼りました。表は①つどいの場②仲間づくり③安否確認見守り④健康づくり⑤その他に分かれており、普段のつながりにどのような効果があるのか確かめました。



最後に各グループでどのような話があったかを発表をし、丹陽町連区で行われているお宝（住民の支え合い活動）についてみんなでも共有しました。